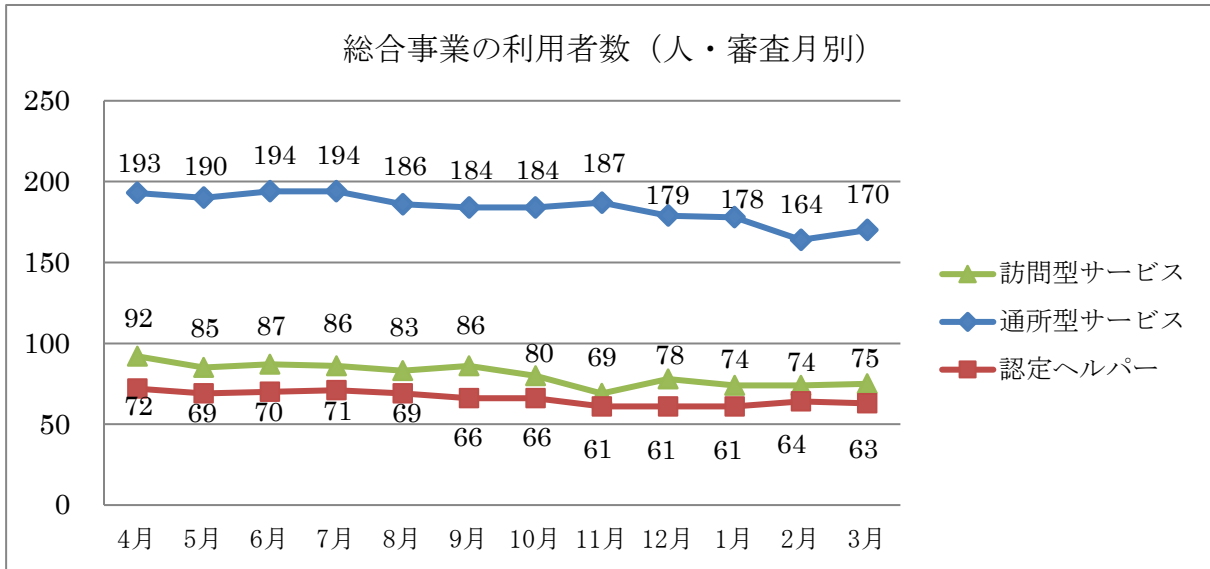


令和元（2019）年度介護予防・日常生活支援総合事業の実績報告

1 利用者数

○訪問型サービス、通所型サービスとも減少傾向にある（3月審査分の前年度比較では、訪問型サービスが16.7%減、通所型サービスが15.0%減）。

○訪問型サービス全体の利用者の減少に伴い、認定ヘルパー利用者も減少傾向にある。

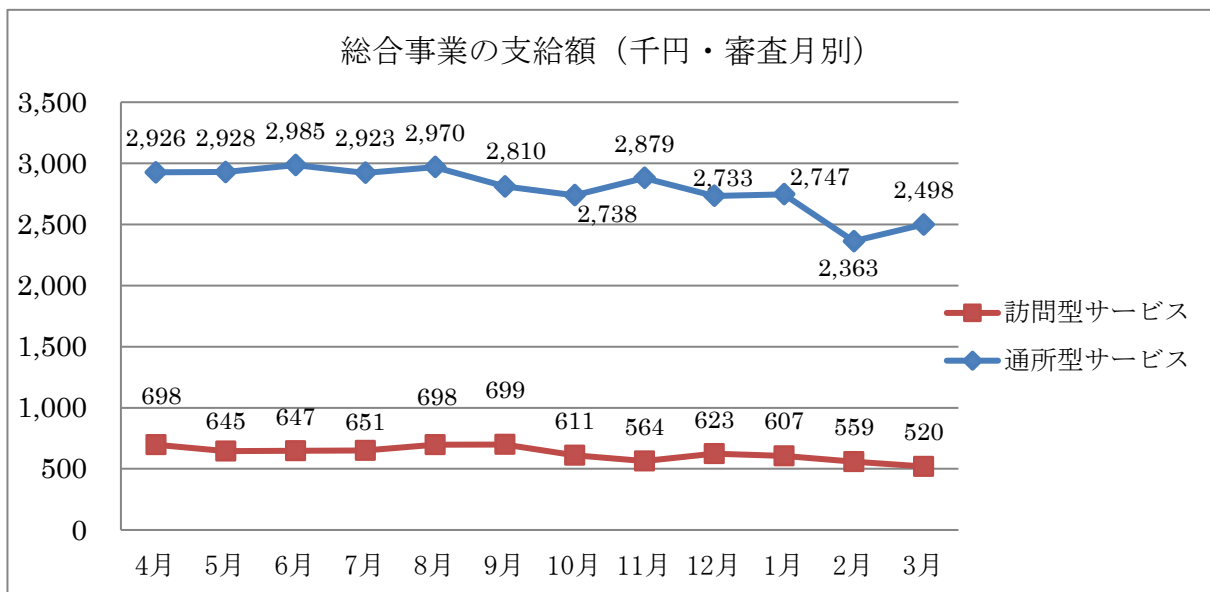


*各月の数値は審査データによるものであり、実際の利用（サービス提供）は概ね前月分

*認定ヘルパーの利用者数は、市内の住所地特例対象施設入所者（他市被保険者）を含む。

2 支給額

○訪問型サービス、通所型サービスとも減少傾向にある（3月審査分の前年度比較では、訪問型サービスが26.2%減、通所型サービスが17.5%減）。



*各月の数値は審査データによるものであり、実際の利用（サービス提供）は概ね前月分

3 武蔵野市認定ヘルパーの養成

- 6～7月及び2月に通常の養成研修を実施し、計22人のヘルパーを新たに養成した。
- 幅広い層（年代）が受講しやすい研修とするため、6～7月の養成研修については、実施期間を8日間（1日当たり2時間15分）、2月の養成研修は3日間（1日当たり6時間）の開催とした。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
認定者	155	155	155	155	165	165	165	164	164	164	164	176

* 辞退者1名

4 一般介護予防事業

- 一般介護予防事業の地域リハビリテーション活動支援事業において、いきいきサロン等の住民主体の集いの場に講師を派遣し（全12回）、介護予防に資する体操等を指導する介護予防活動団体支援事業を実施（武蔵野市柔道整復師会及び生活体操研究会に委託）した。いきいきサロン活動団体の2団体が本事業を利用した。
- 介護予防事業の関係課、関係団体で構成する武蔵野市介護予防事業連絡調整会議において、啓発パンフレット「市民みんなで目指す「健康長寿のまち武蔵野」」の改訂版を作成した。